



令和5年1月8日

令和5年牧之原市
はたちの集い

1月8日、相良総合センターいすらで「はたちの集い」が挙行され、市内在住および出身者の337人が出席しました。

前年4月に成年年齢が18歳に引き下げられたことから、今回から式典の名称を「成人式」から変更し、「はたちの集い」として開催することになりました。

第1部では、杉本基久雄市長の式辞の後、はたちの集い実行委員代表の大石紗矢香さんと植田勝也さんが、「誓いのことば」として周囲への感謝の気持ちや今後の決意などを述べました。

参加者には、市からの記念品として、牧之原茶のティーバックと、牧之原市はたちの集いオリジナルデザインのタンブラーとトートバッグが贈られました（写真①）。

第2部では、中学校時代の恩師が登場し、20歳を迎えた教え子に向けて「お祝いのメッセージ」を送りました。その後の実行委員会記念アトラクションでは、実行委員が恩師へのインタビューを行いました（写真②）。

式典の最後は、はいばら太鼓の力強い演奏で締めくくられました。

誓いのことば（抜粋）



おおし さやか
大石 紗矢香さん（勝間田区）

私たちは多くの方々に支えられながら20年を歩んできました。今日という日を迎えることができたのも、そんな皆さまのおかげだと心から感謝しております。私には、人生を通して貫きたい目標があります。それは「空手を続けること」です。私はこれからも牧之原市出身であることを誇りに、周りの方々への感謝の心や思いやりの心を忘れず、これからの人生を歩んでいくことを決意し、誓いのことばとさせていただきます。



うえだ しょうや
植田 勝也さん（牧之原区）

20歳という人生の節目を迎え、大人としてどのように地域へ貢献できるのかを強く考えるようになりました。さまざまな地域が、後継者不足や人手不足、若い世代が自治会の活動に参加しないなどの問題を抱えています。私はこれから、牧之原市の将来を担う一員として、大学でより深く地域の存続や活性化について学び、それを牧之原市の活性化につなげることを胸に誓い、代表のことばとさせていただきます。



①記念品を紹介する実行委員メンバー



②中学校時代の恩師にインタビューを行う実行委員メンバー



RIDE ON MAKINOHARA
おかえりプロジェクト

登録はコチラから



このプロジェクトは、牧之原市で育ったみなさんが、これからもふるさと牧之原市で活躍していただけるよう、支援するプロジェクトです。地元で就職を考えている人、まだまだ考え中の人、ぜひ「おかえりプロジェクト」にご登録ください。

式典の様子をYouTubeで配信中

はたちの集いの様子をアーカイブでご覧いただけます。本年は市内の学生13人が、ボランティアとして式の運営に協力してくれました。

